

ダイハツ、ユニフォームを25年ぶりにリニューアル



ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、2026年4月1日（水）より、ユニフォームを25年ぶりにリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、近年の働く環境の変化を踏まえ、ダイハツで働くすべての人がいきいきと働き、毎日着用したくなるユニフォームを目指し、スタイリッシュなデザインと、着心地や機能性の両立に加え、様々な工具を使用する現場でも安全安心に働けるよう、切創確認や耐熱確認を実施し、素材の細部にもこだわりました。

デザインはブラックを基調に、赤の横ラインを配置。隣に仲間が並ぶと赤のラインが繋がることで、絆・団結・チーム一丸を表現しました。通気性を高めるため背面を二重構造にするなどの暑熱対策を施すとともに、冬の時期には暖かさを保ちながら蒸れにくい素材を採用しました。さらに、伸縮性のある生地を着心地の良さを追求するとともに、隠しポケットも多く配置しました。また、季節や作業状況に合わせて快適に着用できるよう、新たに夏用のジャンパー・ズボンや半袖ポロシャツを設定するなど、バリエーションも拡充しました。

今回のリニューアルに際しては、複数のデザイン候補から、ダイハツで働くすべての人を対象とした投票を実施し、最も多くの投票が集まったデザインを採用いたしました。4月1日より、従業員へ配布を開始し、同日行われた入社式では、新入社員の約300人全員がリニューアルされたユニフォームを着用し、新たな一歩をスタートいたしました。

今後もダイハツは、「お客様に寄り添い、暮らしを豊かにする」という企業理念のもと、従業員の働きやすい環境づくりを実現し、お客様の生活を豊かにするモビリティ社会の実現を目指して、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪で取り組みを進めてまいります。

以上